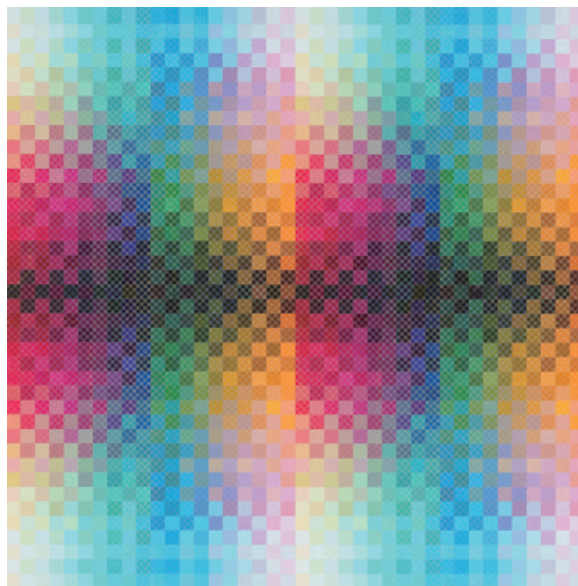


## 川人綾「綴るみなも」

会期：2024年9月7日(土)～9月28日(土) ※日曜・月曜・祝日休廊

時間：12:00～18:00 / 会場：imura art gallery



川人綾 《CUT : C/U/T\_dcccv-dcccv\_(w)\_I》  
H80.5×W80.5cm / 木製パネルにアクリル絵具 / 2024 / Photo:大島拓也(Northern Studio)

この度イムラアートギャラリーは、川人綾の個展「綴るみなも」を開催いたします。

現在、川人は川島織物セルコンが協賛する2025年開催大阪・関西万博の迎賓館の綴織タピストリーのデザインと制作監修を行っています。本展では、川島織物の綴織からインスピレーションを受けて制作したグリッド・ペインティングを約13点展示いたします。

川人は幼い頃より神経科学者である父の影響を受け、人は脳を通して世界を把握しているということを強く意識するようになり、なかでも特に錯視効果に興味を抱きました。京都での学部生時代には、日本の伝統的な染織を学びますが、表現の模索の末に絵画制作に辿りつき、東京藝術大学大学院博士課程の頃より「制御とズレ」をテーマとするグリッド状の絵画(グリッド・ペインティング)を発表します。

これまで、川人は大島紬からインスピレーションを受けて制作したシリーズや、神経科学の実験で得られた脳活動画像を応用したシリーズなど、「制御とズレ」という一貫したテーマでありながら、様々な展開を見せてきました。今回の綴織に着想を得た新たな展開では、面的な構成と鮮やかなグラデーション、その効果としての揺らぎが印象的です。

綴織とは古代から世界各地で用いられてきた技法ですが、川島織物の綴織の特性はその色使いにあります。二代川島甚兵衛は絵画を織物で表現することに注力していましたが、明治になり日本画に用いられる顔料がそれまで以上に多色使いの方向へと改良研究されることを目の当たりにし、綴織の多色使いを研究しました。そして、独自の色ぼかし技法をつくりあげ、原画通りの織物を多く制作しました。川人は川島織物の職人達の製作風景に感銘を受け、織機に向かい緯糸を経糸に織り込んでいく姿が、まるで美しい色の水面を生み出しているように感じられ、「綴るみなも」というタイトルをつけました。

一見、無機質なグリッド・ペインティングにどこか温かみを感じるのは、手作業の積み重ねが生み出すズレや、錯視効果による現実とイメージのズレを、作品の美しさの一部として取り込んでいるからでしょう。是非会場で、川人が織りなす新作をお楽しみください。

## 川人 綾 / Aya Kawato

### ◆略歴

- 1988 奈良県生まれ
- 2011 京都精華大学芸術学部素材表現学科テキスタイル卒業
- 2014 パリ国立高等美術学校交換留学
- 2015 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現修士課程修了
- 2019 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現博士後期課程修了
- 現在 京都府を拠点に活動

### ◆主な個展

- 2023 「やわらかい窓」日本橋三越本店美術コンテンポラリーギャラリー（東京）  
「project N 89 川人綾」東京オペラシティアートギャラリー（東京）
- 2022 「川人綾:斜めの領域」京都市京セラ美術館ザ・トライアングル（京都）
- 2021 「川人綾展 My Grid Paintings: 2016-2021」日本橋三越本店美術コンテンポラリーギャラリー（東京）  
「織(Ori)Scopic」イムラアートギャラリー（京都）
- 2020 「Tell Me What You See」Pierre-Yves Caër Gallery（パリ、フランス）
- 2019 「Aya Kawato Solo Exhibition」Aifa（ジュネーヴ、スイス）  
「Controlled / Uncontrolled」Pierre-Yves Caër Gallery（パリ、フランス）
- 2018 「川人綾 個展」イムラアートギャラリー（京都）

### ◆主なグループ展

- 2024 「Micro-Perception」CHINI Gallery（台北、台湾）  
「Spring Show」Galerie Vazieux（パリ、フランス）
- 2023 「秋元雄史セレクション～ブレイク前夜」ASTER（金沢）  
「Art Collaboration Kyoto Public Program『Beyond Glitch 壊れた世界で現実を捉え直す』」  
国立京都国際会館（京都）  
「Akris x ARTnews JAPAN Reimagining the Values Vol. 2『Everything weaving us / 私たちを織りなすすべてのもの』」Akris Salon（東京）  
「Nippon Mania -Contemporary Art from Japan-」Kunsthau Kaufbeuren（カウフボイレン、ドイツ）  
「となりの揺らぎ by imura art gallery」CADAN有楽町（東京）
- 2022 「Perception」Aifa（ヴェルビエ、スイス）  
「千島土地コレクション『TIDE -潮流が形になるとき-』」Kagoo（大阪）
- 2021 「Cadan Roppongi Presented by Audi」六本木ヒルズ Hills café / Space（東京）

2020 「先端芸術 2020 / アペラシオン Apparation -先端芸術表現科 20 周年&伊藤俊治教授退任記念展-

東京藝術大学大学美術館陳列館（東京）

「ブレイク前夜 in 代官山ヒルサイドテラス -時代を突っ走れ! 小山登美夫セレクションのアーティスト 38 人-

代官山ヒルサイドテラス（東京）

「数寄景 / New View -日本を継ぐ、現代アートのいま-

日本橋三越本店（東京）、阪急うめだギャラリー（大阪）、三菱地所アルティアム、福岡三越（福岡）

2019 「Drawing: Manner」 Takuro Someya Contemporary Art（東京）

2017 「Collect 2」 Micheko Galerie（ミュンヘン、ドイツ）

「2074、夢の世界」 FIAC 2017 / Grand Palais（パリ、フランス）、東京藝術大学大学美術館（東京）

「第 13 回群馬青年ビエンナーレ」群馬県立近代美術館（群馬）

## ◆主なコレクション

2023 寺田倉庫株式会社（東京）

UESHIMA COLLECTION（東京）

2022 千島土地株式会社（大阪）

2018 東京藝術大学大学美術館（東京）

2017 シャネル株式会社（東京）

## ◆主なコミッションワーク

2021 ロンシャン ウィーン（ウィーン、オーストリア）

2020 フェイスブック・ジャパン（東京）

ザ・ホテル青龍（京都）

2019 ロンシャン ラ メゾン銀座（東京）

---

# imura art gallery

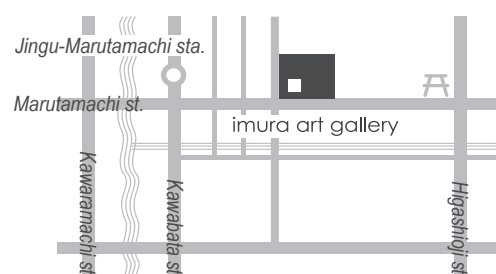
〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町31

開廊時間 : 火曜日～土曜日 / 12:00 - 18:00 / 休廊日 : 日・月・祝祭日

Tel : 075-761-7372 / Fax : 075-761-7362

E-mail : info@imuraart.com



京阪電車：「神宮丸太町」4 番出口より徒歩 3 分

市バス：「丸太町京阪前」下車徒歩 2 分

---